



第90回全国高等学校サッカー選手権・千葉県決勝戦



市立船橋高校 1-0(延長) 流通経済大学附属柏高校

主審：河合 英治 副審1：清水 勇人 副審2：松田 卓磨 4th：小栗山 浩史(敬称略)

2011年11月26日(土)に、千葉県柏の葉総合公園陸上競技場で行われたゲームの審判団取材してきました。

一 まずは試合を終えての率直な感想をお願いします。

河合：選手が全力を出せたのであれば、よいレフリングであったと思います。選手が頑張って最後までやってくれたことが、何よりのメダルだと思います。

清水：高校最後の選手権ということで、選手のひとつひとつのプレーに必死さが伝わって、それをしっかりと見極めて、最大限の力を発揮できるようにサポートしなければならぬと感じ、一生懸命取り組みました。

松田：レフリングを楽しむことができました。試合の序盤は集中しなければと感じていました。試合が進むにつれて、心に余裕を持ちながら、楽しみつつ集中することができました。

小栗山：主審、副審が試合に集中できるようサポートしようと心がけましたが、最後いろんなことが起こりバタバタしてしまい、迷惑をかけてしまったのではないかと反省しています。



左から、小栗山、清水、河合、松田の各氏

一 今回決勝の審判を担当されるということで、どのような準備をしましたか。

河合：なによりも選手のためによいコンディションをつくる。それから選手のためにイメージトレーニングをして試合に臨むことの二つが一番大切であると思っています。

清水：最大限に選手のプレーを引き出すためにコンディションを整えるということで、日ごろの食生活に気を付けました。そして、大観衆の中でも自分がしっかり集中できているということをイメージしました。そういったことを意識してこの1週間は過ごしました。

松田：トレーニングです。選手もこの決勝に向けて計画的に、トレーニングを積んできているので、それだけのフィットネス、メンタルレベルにある選手たちに合わせる、負けないためにも、この試合だけでなく日ごろから準備しなければならぬと思って準備しました。

小栗山：体調管理を考えること。試合中どんなことが起きるか想像して、それらに対する的確に対応できるように考えて、過ごしていました。

一 最後に、レフリーニュースの読者に向けて一言お願いします。

河合：日ごろのトレーニングを大切に、そしてアポイントを受けた1試合1試合を大切に、どの試合も選手にとってはかけがえのない試合だと思いますので、ベストパフォーマンスを出せるように、私も頑張っていきますので、みなさんも頑張りましょう。

取材協力：千葉県高体連

目次			
決勝審判員表彰の様子	1~3	サッカー3級審判員昇級審査のお知らせ	8~9
2012年も審判活動を行うために！	3~5	サッカー3級インストラクター講習会	9
新規資格認定講習会・更新講習会	5~6	各研修会報告・強化部からのお知らせ等	10~13
各種昇級者の紹介・コメント	7	郡市委員会だより	14~15
サッカー2級審判員推薦審査のお知らせ	8	JFAからの通達等・永年功労表彰のご案内	16

第34回JAバンクカップ・チバテレビ旗争奪千葉県少年サッカー選手権大会 決勝戦

11月3日(木・祝)に、フクダ電子アリーナにて、決勝戦が開催されました。

柏レイソルU-12 3-0(前半0-0) 船橋FC

柏のディフェンス間のパス回しから外への展開、中央への折り返しという攻撃を何回となく行い、得点につなげていきました。船橋もディフェンスからのフィードを起点として突破を何度も試みましたが得点できず、柏の勝利に終わりました。

審判団は、主審：山中 吉一 副審1：近藤 敏秀 副審2：中嶋 文男 4th：梶岡 浩康 の4氏で行われました。試合後、大会決勝戦の審判団の皆様にご感想を伺いました。(以下、敬称略)

ー 決勝審判団に指名された時の気持ちはどうでしたか

山中：レフリーを指名され光栄に思っています。いつもどおりのレフリングをしようと思いました。

近藤：アシスタントレフリーは電話で指名されました。指名されたときオフサイドラインをしっかりとキープし、ラインを見極めようと思いました。

中嶋：アシスタントレフリーは初めて指名されましたが、全日本少年サッカー大会へも参加したことがありましたので、光栄に思います。フクアリは芝がふかふかですね。今回はレフリーを目指したいので上級審判に挑戦していくつもりです。

梶岡：山中さんとセットでうれしく思いました。



左から、中嶋、山中、梶岡、近藤の各氏

ー フクダ電子アリーナでの審判ということでスタジアムについての感想はいかがですか

山中：スタンドの観客は目に入らなかったが、ゲームに集中し、いつもどおりのレフリングができたと思います。できれば、スタジアムが超満員のところでやりたかったので、バックスタンドにも観客を入れてほしかったなあ。

近藤：フクアリは初めてだが、観客の気分にもなれたし、また芝生がとても綺麗でした。

中嶋：気分が良いですね。

梶岡：こういうところで審判を出来て光栄に思います。

ー 決勝に対する準備はどうでしたか

山中：いつもと同じようにトレーニングし、今日は神社の掃除をしました。

近藤：サイドステップからのダッシュトレーニングとジョギングをしました。

中嶋：主審がなく、アシスタントが(準決勝と決勝の)2本なので、スピードトレーニングを少なめに、視野を広く取れるように意識して行ってきました。

梶岡：レフリーの足を引っ張らないようにしようと思いました。

ー 決勝の審判をどのような意識で臨まれましたか

山中：自宅周辺を40分ぐらい走りこんだトレーニングをして、後半に体力が落ちないように考えました。

近藤：体調を考え甘いものを控え、見落としがないように臨みました。

中嶋：体調が悪かった時期があったのですがサイドステップの動きと、視野を広く見るように心がけました。

梶岡：ベンチコントロールをしっかりするように心がけました。

ー 少年と大人の試合での感覚や違いはありますか

梶岡：交代が多かったのですが、交代選手が早く出たくて時間を聞きに来たのには選手のやる気を感じました。

ー 試合が終わった今の感想はどうですか

山中：ホッとした気持ちですが、悔いはありません。全力で自分のレフリングを出し切った思いです。

近藤：光栄であり、観客がいる貴重な体験をさせてもらいました。最後にミスがありちょっと残念な気持ちがあります。

中嶋：大きなミスもなくアシスタントもこなし、レフリースタッフの協力があって良い試合であったと思います。



表彰式の様子

和気あいあいの内にインタビューが行われ、その後はインストラクターによって(厳しい?)反省会が行われました。このような決勝戦の審判を行うことを目標にして、若い審判員が活発に活動出来たらいいなと感じています。



第17回全日本フットサル選手権大会千葉県大会 決勝戦



11月26日(日)に、大網白里アリーナにて、決勝戦が開催されました。決勝戦は、バルドラール浦安セグンド(関東リーグ)対VIVA(千葉県2部リーグ)との試合でした。決勝戦の前に準決勝を戦っていたので、特にVIVAは、1時間弱の休息しか取れなかったため、かなりの疲労があったようでした。

試合は、浦安が前半7点、後半4点を取り、11対0で優勝いたしました。決勝の審判団は、主審：金子 一博、第2審判：藤崎 翔平、第3審判：榊原 晴彦、タイムキーパー：榊原 隆男の4氏によって、行われました。(以下、敬称略)

一 決勝審判の感想や試合前の準備等について

金子：決勝ということにはこだわらず選手に一番良い状態でプレーしてもらえるように、審判団のチームワーク良く判定するように心掛けました。準備としては、試合前にイメージトレーニングをおこなっています。

藤崎：正しい判定が出来るように心がけ、試合の流れを大切にしてスムーズな試合運びが出来たと思います。常に平常心で試合に臨んでいます。

榊原(晴)：割当を受けた段階では、決勝の対戦カードが決まっていないので、どのチームが勝ちぬいても良いようにトレーニングをしました。

榊原(隆)：決勝の審判団に選ばれて光栄に思いました。千葉県予選を勝ち抜いて関東大会に行かれる2チームに協力出来ればという気持ちで臨みました。

一 フットサル審判を目指す方々へのアドバイスをお願いします。

- ・フットサルの試合をやったり、見たりして、もっとフットサルを知り、フットサルを楽しんでください。
- ・サッカー審判員の方々は、サッカーだけでなく、フットサルの審判もやってください。
- ・日頃のトレーニングを怠らず、1試合走りきる体力を養ってください。
- ・サッカーとフットサルの違いは、競技規則はもちろん違いますが、攻守の切り替えが早く、判定スピードがサッカーより何倍も速いので、もたもたしていると次のシーンとなってしまいます。バスケットボールに近い感覚がありますので、見る目を養い、頭の瞬発力を鍛え、判定スピードをアップしなければなりません。
- ・サッカー審判をしていて判定に迷いがあり、笛の吹けない方は、一度フットサルの審判をやってみるのも良いかと思えます。

決勝戦の審判団の皆さま方、ご苦労様でした。



左から、榊原(隆)、藤崎、金子、榊原(晴)の各氏

●●●2012年度も審判活動を行うために！●●●

2012年度も引き続き審判活動を行うためには、登録更新が必要です。

■登録更新はお済ですか？■

登録更新を行うためには、

1. 更新講習会を受講する

《一昨年(2010年)以前に取得講習会を受講した方(審判登録を行った)》

2. 更新の手続きを行う

《昨年(2011年)取得講習会を受講した方(審判登録を行った)》

のどちらかの手続きが必要です。

●更新講習会を受講する方(2010年以前に登録した方)●

- (1)JFA公式サイト(<http://www.jfa.or.jp/>)の「登録はこちらから【kickoff】」から「審判」を選択しログインし、
- (2)「更新講習会申込み」を選択、
- (3)「講習会を選択する」→「支払手続き」→「完了(申し込み完了画面の印刷)」まで行い
- (4)「支払い手続き」に従い、講習会費等をお支払いください

以上で、更新講習会の受講申込みが完了しますので、申込みを行った更新講習会を受講してください。(更新講習会は2月26日までに受講する必要があります)

※2012年度の登録費は、申込みの際に支払手続きの中で支払うこととなります。

●更新手続きを行う方(2011年に登録した方)●

- (1)JFA公式サイト(<http://www.jfa.or.jp/>)の「登録はこちらから【kickoff】」から「審判」を選択しログインし、
- (2)「更新手続き」を選択、
- (3)「支払手続き」→「完了(申し込み完了画面の印刷)」まで行ってください
- (4)「支払い手続き」にしたがって登録費をお支払いください。

以上で、更新手続きは完了です。(更新手続きは1月31日までにを行う必要があります)

※登録初年度に限り、更新講習会の受講はありません。

なお、「更新手続き」は現在でも手続き可能です。早めに手続きを行うことをお勧めします。

■登録更新できなかった場合は、新規に4級審判員資格を取得することになります■

●カテゴリー研修に参加している審判員の更新講習会●

カテゴリーに登録されている方で、カテゴリー研修に参加された方は更新講習会の中の「カテゴリー研修参加者のための更新講習会」を申し込んでください

●●《JFAラーニングの開設について》●●

更新講習会の受講のほかに、今年度も「サッカー4級審判員向け」、「フットサル4級審判員向け」が開設されます。

※申込・受講期間(サッカー4級審判員向け。フットサル4級審判員向け共に)

千葉県では2012年2月26日(日)までの予定

申込期間、受講期間は、KickOffの講習会情報をご確認ください。

●JFAラーニングとは●

審判員の受講機会を増やすとともに利便性を向上することを目的に、(財)日本サッカー協会が開設したWEB上で受講することができる更新講習会です。

受講者は、自分のペースでインターネットに接続されたパソコンに向かい学習することができます。

実際に会場に集合して実施される従来の実地講習会とは受講方法は異なりますが、「講習会への申込み」は従来の実地形式の講習会と同じように「Kick Off」から行います。

受講するパソコンやインターネットへの接続環境によって、サンプルの再生に違いが生じるため、受講申し込みの際にサンプルの再生ができるかどうかの確認をしてから受講申し込みを行うこととなります。

JFAラーニングでは、設定された期間内にすべての章の受講を完了することが必須となります。

設定されている期間内にすべての章の受講が終了できない場合には、未受講となり資格の更新条件を満たさない事となります。

つまり、更新できないこととなります。

千葉県でのJFAラーニングは、2012年2月26日(日)まで(正確には23時59分まで)に完了する必要があり、完了できないと更新講習会受講未了として更新できないこととなります。

受講時間はパソコンやインターネットへの接続環境、学習の個人差にもよりますが、標準として2時間程度と考えられます。

● おおまかなパソコンの推奨環境は次のとおりです。●

推奨 OS :Windows XP以上

推奨ブラウザ:Microsoft Internet Explorer ver.6、ver.7、ver.8

*プラグイン:Adobe®TMReader 7.0(日本語版)以上

Adobe®Flash™Player 8.0以上

(注)JFAホームページより

なお、詳細についてはJFAラーニングが開始された時に各自のパソコンでインターネットから「Kick Off」に接続し、確認してください。

このほかにインターネットへの接続環境も確認する必要があります。

JFAラーニングの受講ができるかどうかは、インターネットへの接続環境やパソコンの動作環境などにより異なりますので、必ず受講する環境で動作環境の確認をして受講申し込みを行いましょう。

JFAラーニングは(財)日本サッカー協会が提供する更新講習サービスです。JFAラーニングに関するお問合せは(財)日本サッカー協会審判部 TEL03-3830-2004(代)にお願いします。

●●《住所変更について》●●

登録された住所は、ルールの改正の情報やレフリーニュース、新たなルールブックをお送りする重要な項目です。

これら資料はメール便で送られるため、「アパート名」、「マンション名」、「棟」、「部屋番号」がある場合は全て入力してください。(住所が不正確だと各種資料が届かなくなりますので、必ず正確に入力願います。)

住所が変更となった方は必ず住所の訂正をお願いいたします。

また、メールアドレスをお持ちの方はメールアドレスを入力してください。至急の連絡や情報をメールにより発信することがありますので、入力をお願いいたします。

●●《2012年度審判証の発行について》●●

2012年度の審判証は3月下旬に3月1日現在の住所に発送になりますので、2月末までに必ず届く住所に修正願います。(3月になると審判情報を修正できません)

引越しの予定がある(住所に変更がある)方は、必ず届く住所(実家、会社など)に審判情報を修正してください。

また、審判証はメール便で送られるため、「アパート名」、「マンション名」、「棟」、「部屋番号」がある場合は全て入力してください。(住所が不正確だと審判証が届かなくなりますので、必ず正確に入力願います)

2012年度・新規資格認定講習会のお知らせ(サッカー)

(社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、審判委員会ホームページ及び『Kick off』でご確認下さい。

【申込方法・注意事項もご参照下さい。】

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人数	駐車場	講習会費
2012年 1月29日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義・ 確認 テスト	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルール 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	160名	有り	一般:¥7050 ユース:¥1000
2月12日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義・ 確認 テスト	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モルール 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	80名	有り	一般:¥7050 ユース:¥1000
3月11日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義・ 確認 テスト	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルール 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	160名	有り	一般:¥7050 ユース:¥1000
3月18日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義・ 確認 テスト	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルール 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	160名	有り	一般:¥7050 ユース:¥1000

2012年度・新規資格認定講習会のお知らせ(フットサル)

(社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、審判委員会ホームページ及び『Kick off』でご確認下さい。

【申込方法・注意事項もご参照下さい。】

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人数	駐車場	講習会費
2012年 1月29日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義・ 確認 テスト	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モルール 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	80名	有り	一般:¥8050 ユース:¥2000
3月18日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義・ 確認 テスト	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モルール 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	80名	有り	一般:¥8050 ユース:¥2000



Kickoff
JFA online registration site

2011年度・更新講習会のお知らせ(サッカー)

(社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、審判委員会ホームページ及び『Kick off』でご確認下さい。

【申込方法・注意事項もご参照下さい。】

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人数	駐車場	講習会費
2012年 1月22日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 12:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	160名	有り	一般¥6050 ユース¥1000
2月26日(日)	17:30～ 18:00	18:00～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	160名	有り	一般¥6050 ユース¥1000
2月下旬	※	※	観戦	※	※	※	なし	※

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人数	駐車場	講習会費
2012年 1月22日(日)	13:00～ 13:30	13:30～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	160名	有り	一般¥6850 ユース¥1500
2012年 2月26日(日)	17:30～ 18:00	18:00～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	80名	有り	一般¥6850 ユース¥1500
2月下旬	※	※	観戦	※	※	※	なし	※

※ 会場等詳細は決まり次第、千葉県サッカー協会審判委員会のホームページ上で掲載致します。

2級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人数	駐車場	講習会費
2012年 1月28日(土)	14:40～ 15:00	15:00～ 17:00	講義	フクダ電子 アリーナ (会議室)	JR蘇我駅徒歩10分	100名	なし	¥14550

2011年度・更新講習会のお知らせ(フットサル)

4級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄り駅	募集人数	駐車場	講習会費
2012年 1月22日(日)	13:30～ 14:00	14:00～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2研修室)	千葉都市モルレル 「天台スポーツセンタ ー駅」徒歩10分	30名	有り	一般¥6050 ユース¥1000

●講習会(新規・更新)当日受付の料金について●

千葉県主催の講習会で定員に達しなく「当日受付」を行う場合、前年度まではWebサイトで申し込まれた方と同額の受講料を徴収しておりました。

当日受付者の代わりに「審判員情報の入力・徴収料金の振込・その他事務手数料」を事務局が行っていましたが、2011年度からは事務手数料を徴収することとなりました。

講習会によって事務手数料の金額が多少異なりますが、詳しくはWebサイトの各講習会「その他・留意事項」をご確認ください。

Webサイトにて申込みすれば、今までどおりですので、県主催の講習会は、Webサイトからお申し込みください。

各講習会等の申込について(サッカー・フットサル共通)

申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●「審判登録Webサイト」 JFA公式ホームページ(http://www.jfa.or.jp/)や、(社)千葉県サッカー協会ホームページ(http://www.chiba-fa.gr.jp/)のトップ画面(上部・右側)にある「Kick off」から入れますので、各自で行ってください。(毎日、午前2時頃～午前6時頃まではメンテナンスのためご利用頂けませんので、ご注意ください。) ●携帯電話(モバイル)での申込は休止中です。 ●支払完了画面まで画面の説明をよく読んで進んでください。 (東日本大震災で被災された地区にお住まいの方は、講習会費が変更となりますので、お申し込みの際にご確認願います。) ●申込途中で画面が進まなくなり切断・中止された方、支払完了画面まで行かなかった方、申し込まれたのですが講習会費用を支払っていない方等は、受講確定になっていないので再度最初から(受付整理番号は無視して)やり直してください。
申込期限	●「審判登録Webサイト」でのお申込みは、期限を過ぎると申込みが出来なくなりますので、ご注意ください。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●振込みに掛かる手数料については、各自でご負担願います。 ●当日の持ち物や諸注意は、申込みの際に「審判登録Webサイト」上でご確認ください。 ●郡市協会主催の更新講習会は、別途会場費がかかる場合がございますので、必ず詳細を確認してください。
問合せ先	(社)千葉県サッカー協会 TEL: 043-310-4888 (審判担当) 営業時間: 月曜日～金曜日の(祝・祭日は除く)10:00～17:00まで ※各会場への問い合わせは厳禁とします。

Congratulations!

2011年10月1日付けで昇級された方々を紹介し(敬称略)。今後の一層の活躍を期待します。

- サッカー2級 唐崎 敦好、江徳 智揚
- サッカー3級 相川 卓也、大友 直樹、柏崎 哲、岸野 裕之、熊谷 健、小西 俊一、佐々木 優、高山 卓巳、中井 雄士、藤原 伸、松本 和也、森崎 和廣
- フットサル3級 増田 健太郎
- サッカーインストラクター2級 中村 敦

また、レフリースカレッジで研鑽を積まれていた、清水勇人さんが、見事に1級合格されました。1面に続く再登場ですが、ご本人からの喜びのコメントを紹介させていただきます。

清水 勇人



小倉(財)日本サッカー協会会長(写真左)と清水さん

千葉県審判員の皆様明けましておめでとうございます。市原市在住の清水勇人です。この度、2011年度1級昇級審査において合格の通知をいただくことができました。松崎康弘日本サッカー協会審判委員長、大石康審判委員長、大野辰巳前審判委員長をはじめ多くの皆様のご指導とご協力を頂いたお陰で合格という結果に繋がったと感じております。この場をお借りして感謝申し上げます。

審判活動を初めて約10年、3級の時には県内での研修や割当等でたくさん勉強をさせて頂き、そのお陰で2009年に地域審判トレセン、2010年にはJFAレフリースカレッジに入学することができました。特にこの3年間は、とても素晴らしい環境で多くのことを学ばせて頂きました。その中で私が審判として1番重要な部分を学ぶことができたと感じております。それは「人間性」という部分です。いくらピッチの上で正しい判定や正しい対応、良い動きやポジショニングを取ることができても、1人の人間としてしっかりしていなければ選手から信頼を得ることができないと思っています。この人なら審判を任せられることができるという信頼を選手から得て、プレーに集中できる環境が作れるように自分自身の人間性を磨いて日々、行動していきたいと思っております。(もちろんレフリング技術も磨かなければいけません!!)

今回1級に合格することができましたが、まだまだ未熟者です。これからも日々勉強し、常に上を目指して成長していくように取り組んでいきます。これからも皆様の厳しいご指導をぜひよろしくお願い申し上げます。

最後に私が高校3年生の時に審判を始めるきっかけを作って下さった市原市4種 光風台FC監督、菊池憲雄様には本当に感謝申し上げます。皆様今後ともよろしくお願い申し上げます。

＜2012年度 第1回 サッカー2級審判員推薦審査のお知らせ＞

(この推薦予備試験は平成24年10月に行われる関東協会2級昇級試験のための予備テストです)

2級審判員の昇級を希望する方は、次の方法によりチャレンジしてください。

1. 資格要件

- (1) 受験資格: 2012年度の千葉県サッカー協会サッカー3級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① サッカー3級審判員として30試合以上の審判を行っていること。
 - a. 30試合のうち、20試合以上主審を務めていること。
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ② サッカー2級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
注意: 顕著なサッカー歴については(社)千葉県サッカー協会が判断する
- (3) 健康など
 - ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
 - ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。
- (4) 審判活動
2級審判員に昇級後、日本協会や関東協会、(社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) 関東サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、18歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 推薦審査

- 第1次審査: 書類審査
 - ① 審判実績確認: 審判手帳のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの推薦審査(S2)申込書を使用して提出
- 第2次審査: 第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2012年4月実施予定
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験 40m走(6.9秒以内)×6回
150m(40秒以内)+50m(50秒以内)インターバル走、16回連続で走ること
 - ・ 講義『2次審査当日合否発表後』合格者に2級審判員として必要な講義を約2時間実施する
- 第3次審査: 2次審査合格者に対して、実技審査を実施
 - ・ 2試合以上実施する。2試合共に審判アセッサー評価で8.0以上を合格とする。

4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。
 - ② **推薦審査(S2)申込書と、審判証の写真側のコピー、審判実績30試合分以上のREFEREES'DAIARY審判記録用紙コピー**を添付し、郵送で申込みをしてください。〒278-0055 野田市岩名2-10-2 高須賀 清司
- ※ 開催日時、試験会場等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

＜2012年度 第1回 サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ＞

多くの方がチャレンジして、3級審判員として活躍されることを期待します。

1. 資格要件

- (1) 受験資格: 2012年度の千葉県サッカー協会サッカー4級審判員として登録していること。
- (2) 次の審判実績のどちらかを有していること
 - ① サッカー4級審判員として10試合以上の審判を行っていること。
 - a. 10試合のうち、8試合以上主審を務めていること。
 - b. 4種の試合について(8人制を含む)は、1日2試合まで審判実績として計上できる。
 - c. フットサル・ビーチサッカーの試合は含まないものとする。
 - ② サッカー3級審判員として活動するにあたる顕著なサッカー歴を有している者。
注意: 顕著なサッカー歴については(社)千葉県サッカー協会が判断する

(3) 健康など

- ① 認定審査受験日前1年以内に健康診断を受診していること。(職場や学校などの定期健康診断を含む)
- ② スポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

(4) 審判活動

3級審判員に昇級後、(社)千葉県サッカー協会の審判活動に積極的に従事できること。

2. 資格審査

- (1) (社)千葉県サッカー協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。
- (2) 参加者は、昇級認定審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。
- (3) 申込み時、15歳以下の者が昇級認定審査に参加するには、親権者の同意がなければならない。

3. 認定審査

- 第1次審査:書類審査
 - ① 審判実績確認:審判手帳のコピー提出による。
 - ② 昇級認定審査参加申込書による。

※審判委員会ホームページの昇級認定審査(S3)申込書を使用して提出

- 第2次審査:第1次審査合格者に対して、筆記試験と体力試験を実施
 - ・ 2012年4月実施予定
 - ・ 筆記試験(競技規則等に関するもの) 80点以上
 - ・ 体力試験 150m(50秒以内)+50m(60秒以内)インターバル走、12回連続で走る
 - ・ 講義(2次審査当日可否発表後) 合格者に3級審判員として必要な講義を約2時間実施する

4. 申込方法

- ① Webでの申込手続きを完了させてください。
 - ② 昇級認定審査(S3)申込書と、審判証の顔写真側のコピー、審判実績10試合分以上のREFEREES'DAIRY審判記録用紙コピーを添付し、郵送で申し込みをしてください。〒278-0055 野田市岩名2-10-2 高須賀 清司
 - ③ 受験費用: 2,000円(徴収方法はWebの指示通り事前支払いのみです。当日現地での徴収は行いません)
- ※ 開催日時、試験会場等が決定し次第、Webサイトに掲載致します。

3級審判インストラクター更新講習会のお知らせ(サッカー)

2011年度最後の3級インストラクター更新講習会(講義)を開催いたします。先の第1回、または第2回更新講習会を受講されていない方で、2012年度も引き続きインストラクターとして活動を希望される方は必ず受講して下さい。

なお、今回の講習会は日本協会から講師をお招きし、講義及びプラクティカルを実施するものです。既に更新を済まされている方はもちろんのこと、2級インストラクターの方々も是非受講していただきますようお願いいたします。

- ◆ 開催日時 2012年3月4日(日) 9時45分～16時(受付9時20分～40分)
注:終日受講しての更新となります、途中退席はできません。
- ◆ 場所 千葉市立千葉高等学校(千葉市稲毛区小仲台9-46-1) 視聴覚室
- ◆ 講習形式 講義及びプラクティカル(終日)
- ◆ 講習会費 審判資格有 ¥4,000 審判資格なし ¥6,500
(更新済み及び2級インストラクターの方の受講料は無料です。)

3級審判インストラクター認定講習会(試験)【第2次審査】のお知らせ(サッカー)

前回のレフリーニュースでお知らせしました「2011年度3級インストラクター認定講習会(試験)【第2次審査】」を、下記の日時で実施いたします。第1次審査を通過された方には個別に別途ご連絡いたしますが、予定に入れ、準備をしておいて下さい。

【第2次審査】認定講習会の受講及び認定テスト

- ◆ 開催日時 2012年3月4日(日) 9時45分～17時(受付9時20分～40分)
- ◆ 場所 千葉市立千葉高等学校(千葉市稲毛区小仲台9-46-1) 視聴覚室
- ◆ 講習形式 講義及びプラクティカル(終日)
- ◆ 筆記試験 講習会終了後(16時以降)に筆記試験を実施します。
- ◆ 受験費用 2,000円
- ◆ 合格基準 ①講習会の受講(途中参加・退出は認めない) ②認定テスト(80点以上)
- ◆ 認定日 2012年4月1日

なお、認定試験に合格した者については、認定初年度において、新任インストラクター研修会を受講後、インストラクター部の指導の下、講義講習会又は実技講習会の講師を担当することとなります。

＜新3級審判員研修参加者のコメント＞

平成23年9月11日(日)、八幡公園球技場、第61回千葉県民体育大会サッカー競技(女子)を利用して行った『新3級審判員対象実技研修会』に参加された方からコメントをいただきましたので紹介します。



自分が審判員としてレベルアップができればと思い、今回の研修会に参加しました。

実際に参加してまず、慣れないマネージャーズミーティングや審判打ち合わせの内容を詳しくレクチャーしていただき、基本的なことかもしれませんが、日頃の打ち合わせの重要性を感じさせられました。また、初めての女子の試合での主審で勝手が分からない部分も多く、色々なカテゴリで審判をすることも勉強になるんだと思いました。

試合後も、自分の気が付かなかった点を1つずつ丁寧に説明・解説され、特异的確なポジショニングでレフリングを行うため、試合の流れをよく掴んで行かなければと痛感しまし

た。他にも沢山ご指導いただき、今後の審判活動に役立てて行きたいと思います。最後に、インストラクターの方々には、とても充実した実技研修会になり大変感謝しています。実技講習会だからこそルールブックには無い細かい事も色々教われたと思っています。今後も機会がありましたらご指導よろしくお願いします。(野田市 山崎 久)

東京都立の特別支援学校の教員として勤務しながら、サッカー部の顧問をしております徳丸と申します。今回の研修は、自分の審判能力の向上を目的に参加しました。しかし、公式戦の笛を吹くことは初めてのことでかなり緊張していました。さらに日本サッカー協会審判委員長の松崎氏によるフラッグテクニックのコツやポジショニング指導など、まさかの人物の登場に緊張を通り越して体調不良になりそうでした。自分が担当した試合では、なるべく試合の流れをとめないように心がけ、そして、自分も選手に負けないくらい走ろうと思いながら試合に臨みました。しかし、試合が始まると緊張が最高潮に達し頭が真っ白になりましたが、A1、A2、4thの方に助けられながらなんとか試合を終わらせることができました。試合後、インストラクターの方からオフサイドの見落としがあったこと、ポジショニングなど、レフェリーとして基本的な事柄について指摘され、自分の能力の低さを痛感しました。研修を通してわかったことは、審判団は、4人でチームを組み、そのチームで試合を進めることが大切であるということです。今まで私は、試合で笛を吹く時、チームで試合を進めるなんて意識は皆無でした。そういう意味では、今回の研修は、技術的なこと以上に試合に臨む際の姿勢を勉強することができました。このような勉強の機会を与えてくれた千葉県サッカー協会審判委員会の皆様には、本当に感謝しております。ありがとうございました。(市原市 徳丸 達之)

「新3級審判員の同窓会です。」の挨拶で始まった研修会。試合前のフィールドチェックでは突然の雷雨、雨が上がったと思えば松崎審判委員長のサプライズ訪問、と慌ただしい中、私は副審1試合と主審1試合の割り当てを頂き、研修会が始まりました。第一試合では副審を担当しましたが、選手の確認に時間が掛かってしまい早速審判チームに迷惑を掛けてしまいました。事前の準備に余裕をもって望まなくてはいけないと痛感させられました。又、主審を担当した試合では、及第点は頂いたものの「走りの量を増やしたほうが良い」と御指導を頂き、日々のトレーニングの量を増やさなければいけないと反省し、研修会を終えました。研修会を通して、試合前から審判チームとして行動することの大切さを再認識することができ、今後の活動に活かしていきたいと考えております。今後とも御指導の程よろしくお願い致します。(野田市 実方 洋一)

今回、初めて審判研修会に参加させて頂きました。まだまだ知らない事も多く、たいへん有意義かつ刺激的な一日となりました。私にとって審判の勉強とは、自分がプレーしていた20数年前のルールへの固定観念とのギャップを埋める作業とも言えます。サッカーのスタイルが多様化し、ルールが変更されたり、審判に求められるスキルが高まっていく事を考えれば研修に終わりが無い事がよくわかります。私が普段活動する4種の現場には子供達の為に汗を流すサッカー経験のない素人のコーチや審判がたくさんいます。そんな彼らがサッカー界の1番底辺を支えているのも事実です。研修会や審判活動を通じて学び、感じた事を彼らに伝える事も使命と思っています。勉強会ではたくさんのインストラクターの方に声をかけて頂き、また少し私の中のサッカーの？輪が広がった事も今回の勉強会で得る事が出来た大切な財産です。(船橋市 永島 哲)



〈女子部より 初心者研修会レポート〉

11月5日(土)習志野茜浜グラウンドにおいて、習志野市の4,5年生トレセン交流ベイサイドリーグを使用させて頂き、今年度のサッカー審判女子初心者研修会を開催しました。

年々研修生が増え、今年はなんと、申し込みが70名となりました。当日は64名の参加で、女子部6名、指導者10名、総勢16名のスタッフで研修を行いました。

10のグループに分け、それぞれに指導者が付き、試合前の打ち合わせから反省会、ルールブックを使用しての競技規則理解、フラッグテクニック、観戦研修等盛りだくさんの内容で、研修生の皆さんには大変忙しい、しかし有意義な研修になったと思います。



女子審判員の普及を目的として行っていますが、県内リーグ等の割り当てを受けて頂ける方や地域で活躍される方が、一人でも多くなるようさらに工夫をしていきたいと思っております。もっと活動してみたいな、と思う方、ぜひご連絡ください。

最後になりましたが、試合を提供して下さった習志野市サッカー協会4種委員会の皆様、参加チームの皆様にご挨拶申し上げます。ありがとうございました。

《研修生の感想》

- 少人数のグループ活動だったので、質問することなどできても実りの多い1日でした。理解しているようで違っていることが多数ありましたので、ルールブックを読む！ということをお願いしたいと思います。
- 頭でわかっていても、実践するとなかなか難しいなと思いました。上手にできるようになったら、もっと楽しくなるかな。。
- (レフリーなど)普段とは違う形でサッカーに関わって、ルールについて知らないことやレフリーの仕方について勉強できてよかったです。副審とのコミュニケーションやオフサイドの取り方など、とても難しかったけど勉強になりました。
- 普段は細かいルールは気にせず練習試合等で副審をやっていたのですが、よく考えてみるとまだわからないことはたくさんあって、とても勉強になりました。また、サッカーのルールは理にかなっていることがよくわかりました。
- 質問など、とても聞きやすい環境や雰囲気だったので、疑問点をすぐ解決することができました。貴重な体験ができてよかったです。
- 初めて主審をやって、今はゲーム中にファウルとか判断していたけど、自分がジャッジする立場になってみて、とても難しいと感じた。



強化部より ~ あけましておめでとうございます ~

強化部長 堀川 栄多

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

少し古い話題になりますが昨秋に実施した活動の報告と、残りわずかですが今年度に予定しているイベントを紹介させていただきます。

1.第2回強化研修会の報告

現在、首都圏各所で高校サッカーの熱戦が繰り広げられています。この県予選を利用して『第2回強化宿泊研修会』を実施致しました。

この研修は地域へ推薦する審判員の選抜を目的に、8月の第1回宿泊研修会の参加者から10名を選抜し、1級審判員ならびに2級インストラクターから『実技(試合)』と『講義(テストおよび試合分析)』のご指導を頂きました。

【強化研修会参加者の皆さん(敬称略)】
指導者: 永瀬, 菊池, 吉野, 中間, 今, 牛尾, 菅原
五十嵐, 渡辺(紀), 金次, 田山, 堀川
受講者: 竹中, 松島, 井筒, 鈴木(悠), 平野
八木下, 中島(智), 友成, 松田, 萩原

競技レベルや試合の注目度が高く、難しい大会でしたが、選手や役員の協力のもと無事に運営できたことは、参加者にとって大きな自信になりました。また、上級審判員からの『的確な分析』と『実践的なアドバイス』は、受講生だけでなく指導者にとっても有意義なプログラムでした。

その反面、共通の課題として、

- ✓ 競技規則の理解不足
- ✓ “行うべきこと”がきちんと行えていない

ことが改めて浮き彫りになりました。

前者は、前回の研修でも反省点に挙がっており、2級昇級予備審査や地域の研修会における筆記試験の結果と合わせても重要な問題だと認識しています。審判員は1つ1つの判定を説明する必要はありませんが、その知識は備えてなくてはなりません。憶測や感覚だけでなく競技規則に則った判定を日頃から心掛けて欲しいところです。また、月例研修会や実地指導を通じて『競技規則の理解向上』と『行うべきことの励行』に努めていきたいと考えています。

現在、日本協会や地域協会の試合は、技能区分に加えて技量に応じた各カテゴリーの審判員が担当しており、上位で活躍するためには自らが這い上がっていくほか方法はありません。今回の研修は言わばこのスタートラインですが、参加者の『気持ち』や『姿勢(意識)』がまだまだ弱い印象を受けました。今後は審判のスキルだけでなく、この辺りの意識改革にも取り組んでいかなくてはならないと痛感しました。

最後になりましたが大会・研修の運営でお世話になりました高体連ならびに地元協会の皆さまにお礼申し上げますとともに、遠方かつ早朝から研修に参加下さった指導者と審判員に感謝の意を表して報告に代えさせていただきます。



試合開始前の模様(10/30鴨川会場)

《研修参加者から》

松島 陽平

高校生にとって、この大会は3年間の集大成ですので、今まで練習してきた成果を十分に発揮してほしいと思いましたが、選手の皆さんはとても素晴らしいパフォーマンスを見せてくださりました。

私も、主審を担当するにあたり、いつも通り平常心でレフェリングしようと心がけました。全力で走ること、判定基準を一定にしておくことをテーマに臨みました。

インストラクターの菊池さんと、1級審判員の五十嵐さんに自分の試合を見ていただき、分析していただきました。夜の宿舎でのビデオ分析では、普段なかなか長い時間自分の映像を見る機会がなかったので、とても新鮮でした。と同時に、走り方、シグナル、ポジショニングなど、まだまだ修正していかないと強くなりました。是非、今後も積極的にビデオ撮影を行い、映像を利用した分析を継続していきたいです。

また、競技規則の理解がまだまだ足りないと思いました。競技規則の正しい理解が、審判をするうえで基本となってきます。今後もしっかり競技規則を理解していきたいです。

副審・4th・大会運営・研修会でお世話になりました県協会、高体連の皆様、審判委員会の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして、お礼を述べさせていただきます。

2012年も更に上のレベルを目指して、一生懸命頑張ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

八木下 健司

研修会初日は天候もピッチの状態もすこぶる良好で選手のみならず我々審判員にとっても恵まれた環境でスタートすることができました。

しかし会場に到着後から変に視線を意識している自分がありました。・・・「なんだ？誰かに見られているような気が・・・」いや、バッチリ見られていました。それは選手、監督、役員の方々からの視線でした。後から聞いた話ですが、私は緊張気味の顔を露呈していたらしく、その様子のあるチーム役員の方から指摘されました。「今日も緊張してるねー」と一言。試合前は特にその高揚したモチベーションが独特の雰囲気を作り出します。何も特別なことをする必要はありませんが、常に堂々とした態度でいることが自分への自信につながり、他者からの信頼を得、良いレフェリングに結びつくのではないのでしょうか。

さて話題は試合中に移ります。私は試合開始早々、DFが犯した後方からのファウルに対し注意をするため、走り去るそのDFを声で呼び止めました。「4番！」しかし、その選手は止まらない。気づけば私の声はスタンドの声援によってかき消されていました。その後注意はしたもののなんと格好の悪いマネージメントになってしまいました。

試合後、その時の状況を改めて振り返った時、大石委員長の「試合中の気配り」という言葉を思い出しました。担当した試合では何か事象が起きた時、私は常に笛や声でコントロールしようとしていたくらいがありました。確かにそれも時によってはあって然るべきなのかもしれませんが、現段階の自分にとっての課題はとにかく気配りをしながら試合を運営していけるかという事でした。この試合について言えば、声が届かないならば走って選手の側まで行く。レフェリー＝笛ではなく、人間であるレフェリーが「この試合を絶対に成功させるのだ」という強い意思のもと試合の隅々まで気を配りながら運営していくことが重要であると感じました。

末筆になりますが、今回このような研修会を開催頂きました研修会運営者の皆様並びに指導者の方々に心より御礼申し上げます。今後も審判技術の向上に努めて参りたい所存でございます。

2.今後のイベント（予定）

残りわずかですが平成23年度内に計画しているイベントを紹介致します。皆さま奮ってご参加下さい。

- ①1月28日（土） 15:00～ フクアリ会議室 2級審判更新講習会（兼月例研修会） P.6参照
- ②2月11日（土） 17:00～ 市立千葉高校 月例研修会
- ③2月25日（土）、26日（日） 県内各所 公募型レフェリースクール（宿泊研修）
*大会（高校地区トレセン）の詳細が確定後、審判委員会HPで参加者を公募します。
- ④3月上旬 月例研修会兼フィットネスチェック

最後になりましたが審判の強化に関わる事案について、ご意見・ご要望がございましたら強化部の堀川 (e.horikawa@jcom.home.ne.jp)までどしどしお寄せ願います。

<全国クラブチームサッカー選手権大会を終えて・・・>

木川 綾

10月29日～11月1日までの5日間（運営は28日から）、全国クラブチームサッカー選手権大会が市原市・習志野市で行われたのを皆さんご存知でしたでしょうか？

秋津・姉崎・スポレク・市原臨海を使ったこの大会は男子のクラブチームの全国大会ですが、笛は女子審判員！今回は山岸さんによる凱旋レフリングの他、女子1級審判員7名の笛を吹く姿や旗を振る姿を見ることができました。また、廣嶋チーフインストラクターを筆頭に1級インストラクターも4名お迎えしました。

そんな素晴らしい方々をお迎えするにあたり、今回は審判運営が少人数だったこともあり色々不備もあったかと思えます。

プロジェクターやビデオの操作に手間取り、初めて覚えたコマ送りを多用し、廣嶋さんが喋り出すと画面が消えるという不思議な現象を多々起こしてしまったこと、そんな中でも審判員の皆さんがやる気の出そうなゴミ箱を2日間作ったり、ホワイトボードに絵を描いたりして皆さんを裏方として支えていた者の働きは忘れてはなりません、その他の女性審判員による主婦的な気配りによる働きぶりはお見事でした。女性ならではの細やかな気遣いや手際のよさ。皆さんさすがです！もちろん、大石審判委員長の素晴らしい働きがあったことは言うに及びません。



今回はどの芝もとっても綺麗！中山競馬場にも負けていません！それもそのはず、グランドキーパーのおじさんの働きが素晴らしい！グランドの不備にもスムーズに対応してくれるので審判運営としては助かります。ありがとうございます！

その他ボールパーソンや担架要員など、中学生から大人までその年齢差を感じさせないほど一緒に頑張りました。普段は審判員の方まで名を連ね、なかでも1級インストラクターまでもがお手伝いしてくれた、準決勝&決勝の人生経験値の高い担架要員&フラッグベアラーは山岸さんのFIFAワッペンが霞むほど眩しかったです！

普段、大会などに審判員として参加すると恵まれた環境を望んでしまいがちですが、それをお膳立てする運営役員は審判員以上に“気づき”や“予測”が大切で、世の為・人の為精神なしにはできません。今回、運営側の気苦労も裏事情も学んだことで私は誓いました。自分が審判員として大会に参加する際にはワガママは言うまい！…時々しか。

どんなレベルでも、何事にも手を抜かず会場の人たちと仲良く協力していくこと。また、何事も自分の状況に置き換えて考えることがサポートをする上で大事なことはないかと思えます。

長いような短いような5日間、不慣れで頼りありませんでしたが、みなさんのサポートのお陰で無事に大きな問題もなく大会を終えることができました。みなさんとこの大会に携わらせて頂いたことに感謝いたします。参加審判員の皆さんのお役に立てたかわかりませんが、少しでもこの大会に、また、千葉県に来てよかったなあと感じていただけていたら幸いです。そんなこんなで、女子1級審判員のジャージクラブ・アディダスの皆さんはそれぞれ帰宅の途につきました。



Next BIG Game! 全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会(1/3～5,7,8) 市原臨海ほか

●郡市委員会だより● 各郡市より毎回ホットな話題を直接お届けします。

(社)柏市サッカー協会は、Jリーグ柏レイソルが来年のアジアチャンピオンズリーグ(ACL)出場決定に伴い、ホーム&アウェイ戦のサポート体制の確立を現在進めております。また、2012年1月14日(土)・15日(日)両日で、柏レイソル U11 サッカーフェスティバルを利用しての、3・4級審判員更新講習会(実技)を本年も開催致します。

(社団法人柏市サッカー協会 審判委員会委員長 小杉 益朗)

新年を迎え、皆様お健やかに清々しい気持で新年を迎えられた事と思いますが、あらためて「絆」というものを大切に、今年も色々な取り組みを実行していきたいと思っております。

昨年、新たな取り組みとして、インスペクター制度を導入して、女子部強化及び上級チャレンジ強化を図ってまいりました。全体的なレベルアップ取り組みの方も、順調に成果を上げることが出来ました。

今年も、昨年同様に選手の技術力と共に審判技術のレベルアップが共存して、千葉県のサッカー技術がレベルアップしていく事を先決問題とし、「更なる飛躍」をテーマにDVD研修会、毎週土・日の教育リーグ・スキルアップ実技研修等を開催し判定基準の統一、取り組みを強化していきます。委員会登録メンバー50数名「全員のレベルアップ」は、決断力・スピード(瞬発力)と取り組み課題はまだまだ山積しております。

「衰えてはいけない向上心」を念頭に掲げ、更なる技術向上を目指し切磋琢磨頑張っていきたいと思っております。

市川市外の方でも、技術向上のために協力を致しますので、HP(<http://homepage2.nifty.com/ifarc/>)などで事務局の小出(こいで)まで連絡をお願いします。

(市川市サッカー協会審判委員会委員長 東 哲也)

新年明けましておめでとうございます。

流山市は例年3回の審判更新研修を開催しており、9月は3種の大会を利用し、また10月・11月の2回の更新研修は4種の大会を利用しての審判更新実技研修を開催致しました。3・4級審判員の皆様には審判のスキルアップを図るために実技研修を中心とし、更新研修以外にも、地区の大会を利用した勉強会を開催しています。また、例年開催していますが、4月早々に講師として千葉県サッカー協会からインストラクターの方をお招きして、競技規則の理解度や実技へのステップアップ研修会を開く予定です。毎年50人前後の参加があり、近隣の審判仲間への声掛けをして、地域のレベルアップを計画していますので、また 多くの審判仲間が参加をして頂ける事を期待しています。

(流山市審判委員会 中村 俊人)

今年で11回目を迎える民間交流「成田市・仁川広域市中区日韓交流サッカー大会」が11月5日に韓国の仁川広域市中区で行われました。成田市サッカー協会からは伊藤会長を筆頭に小学5年生27名、協会役員、青年及び壮年の選手団31名総勢58名が訪韓しました。4日は仁川広域市中区小学校を訪問し、韓国の子供たちと授業を通じて交流を深めました。翌5日のサッカー大会では、少年、青年、壮年、混成チームの各カテゴリーで早朝から夕暮れまで大いに友好を深めてまいりました。

【韓国で審判デビュー】

私にとって海外での初めてレフリー経験でした。まさか自分自身が韓国という異国で実際に「笛を吹く」とは想像もしていませんでした。言葉、文化の違い、習慣の違いでの戸惑い、区長も参加する大きなサッカー大会で勤まるだろうか、まして韓国語は全く出来ない私が、開会式から閉会式まで体力と気力がもつか不安でいっぱいでした。

試合会場となる人工芝のサッカー専用グラウンドは夜間照明設備も含め諸設備が整ったグラウンドでした。審判団のテントは本部隣に設置され、テントの中には6人の審判員がいました。楽観的な私は「アンニョンハセヨ」「ハヤシ ラゴ ハムニダ」と自己紹介を行い、「チャル ブッタク ハムニダ」と覚えたての挨拶言葉を話しました。

しかし、笑顔で返ってきた言葉が「アンニョンハセヨ」・・・以降が全くわからないではないですか。まさしく、現実にはぶつかってしまったわけです。「オーマイ God!」戦闘能力が低下した犬のように尻尾が丸まってしまったのですが、とっさの判断で韓国審判の全員に顔で笑い握手を求めてみました。それからはトントン拍子に仲よくなり、試合開始前には私は韓国FAのワッペンを胸につけて、フラッグを片手にグラウンドに立っていたのです。

割り当ての3試合目は主審を任せられました。試合は20才代の仁川広域市の成年男子の地区代表選手も混じっていて、まさに日韓戦さながらでした。意外だったのが冷静にジャッジできている自分がそこにいた事でした。試合が終了し、副審が近づいてきて「ナイス ジャッジ」と言っていただき達成感が最高潮に達しました。



後列中央が林さん



今回の体験の一つひとつが驚きと感動そのものでしたが、なんともいっても韓国レフリーが「何をしたら喜んでくれるのか」を本気に真剣に考えてくれ「リスペクトの精神」を肌で感じる事ができたことです。サッカーには国境がありませんでした。成田市サッカー協会が韓国仁川広域市中区とサッカー交流が長く継続している事。そして、

喜んで韓国に送り出してくれた家族にこの場をかりて感謝を申し上げます。「カムサハムニダ！！」

【成田市、仁川広域市との親善サッカー交流について】

国際空港を持つ成田市に、韓国の国際空港を持つ仁川広域市中区から、空港と行政について1996年に視察団が来成しました。1998年には『友好交流推進合意書』が締結されました。そういった背景から、1999年よりスポーツ交流を通じて両市の親善をより深めるため、『成田市・仁川広域市中区日韓交流サッカー大会』と称して毎年開催され、開催を見送る年もありましたが、今年で11回目となります。開催形態は仁川と成田で隔年開催として実施しております。
(成田市サッカー協会 審判部理事 林 克三)

野田市審判委員会では9月から12月に第90回野田市民サッカー大会、11月に第23回コカ・コーラさわやか杯野田市少年サッカー選手権大会に審判員派遣を行いました。11月にU-12(8人制)交流サッカー大会を利用して3級・4級審判員実技更新を行いました。

昨年は当委員会から3級審判員に4名が合格しました。現在3級審判員のレベル低下が懸念されていますが、当委員会ではそのような指摘が起こらないように勉強会等を開催し審判技術向上に努めています。

本年、2月には更新講習会を予定しております。(野田市サッカー協会・審判委員会委員長 高須賀 清司)

当市は、今まで懸案であった審判委員会としての地位の明確化および組織の明確化を計るため、試行錯誤の末に、審判委員会としての規約を制定し、今まで以上に若手審判員の育成および技術の向上の充実を目指しています。

(船橋市サッカー協会審判委員長 柿沼 輝信)

県内外より72チームが参加し、当地で開催されている野菊杯少年サッカー大会の決勝トーナメントの8試合を使って、3級、4級の実技更新講習が、11月20日(日)に山武市総合運動公園で行われ、数十人の資格者が受講しました。

ピッチの確認に始まり、試合前の打ち合わせ、試合の審判実技、そして最後にやさしいインストラクターからの講評と、かなりレベルの高い試合の審判であり、受講者はやや緊張の面持ちで実技講習を行いました。間違いなく当地域の審判技術のレベルアップにつながっていると思います。(山武市サッカー協会 審判委員長 平野 嗣)

★★お年玉企画！ チーバくん・トスコインプレゼント★★

前々回(7月号)好評でした「チーバくん・トスコインプレゼント」を今回も行います。

今回は、下記問題の全問正解者にトスコインをプレゼントいたします。トスコインは20個用意しておりますが、正解者多数の場合は、抽選にて決めさせていただきます。なお、当選者は審判委員会のホームページで発表いたします。

- 【問題1】2011年度の山口県国体で千葉県的女子チームは何位になったのでしょうか？
- 【問題2】アジアサッカー連盟主催の表彰式で、2011年最優秀女性主審を受賞したのは？
- 【問題3】2011年度全日本フットサル選手権大会・千葉県予選で優勝したチームは？
- 【問題4】2011年度全日本少年サッカー選手権大会で優勝したチームは？
- 【問題5】2014年のワールドカップの開催国は？

※応募方法: 官製はがきに ①審判番号 ②住所 ③氏名 ④答え(問題1～5全て) ⑤レフェリーニュースへの要望や希望等を記載し、1月20日(金)までに(消印有効)送ってください。

★皆様のチャレンジ、お待ちしております。

※応募先: 〒260-0013

千葉市中央区中央3-9-16三井生命千葉中央ビル4階
(社)千葉県サッカー協会・トスコインプレゼント係



RESPECT ●● JFAからの通達等について ●● Fair Play

皆さんがこれを手にする頃には、季節感は真逆ですが、ビーチサッカーの競技規則が明文化されました。詳細については、(財)日本協会のサイト ホーム≫大会・試合≫競技規則 (<http://www.jfa.or.jp/match/rules/index.html>)をご覧ください。

(社)千葉県サッカー協会は「がんばろう！千葉」

キャンペーンを応援しています



2012年度永年功労表彰のご案内

(社)千葉県サッカー協会審判委員会に関する規定に基づき、(社)千葉県サッカー協会審判員として登録後、10年、20年および30年間(2011年12月31日現在)審判活動を続けられた方の表彰を行います。この表彰に該当する審判員の方は、自薦、他薦を含めて2月17日(金)までに、氏名、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、登録年月及び活動状況を記載の上、下記までご連絡ください。

〒285-0843 佐倉市中志津4-24-25 小林 孝幸 宛
E-mail : taka_koback0874@ybb.ne.jp

Fair Playの原点 = 医療の原点

大切に思うこと

わたしたちも **リスペクト** しています

<http://nanohana整骨院.com>

広告主さま募集しています

- 千葉県内約8千名の審判員に年4回送られているレフリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- 募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申し込みは(社)千葉県サッカー協会事務局(TEL 043-310-4888)にご連絡をお願いいたします。

○○○ 編集後記 ○○○

レフリーニュースの内容を、より多くの人に興味を持って読んでいただこう、と取り組んで、はや3号めとなります。まだまだ物足りない点、などを編集員あてに遠慮なくおっしゃっていただければ、と思いますので、よろしくをお願いします。

年に1、2回ですが、自分自身がプレーヤーとしてすそ野のレベルでサッカーを楽しむときがあります。そのゲームの最中や、前後の試合で、レフェリングに対する声が耳に入ってくる場合があります。ベンチ役員や選手の、審判に対するリスペクトの姿勢にも問題はあると思いますが、審判員にも、競技規則の理解、適用に関して反省すべき点があるのも事実です。きちんと競技規則を適用させて円滑なコントロールを完璧に行えればいいのですが、実際は人間ですからミスは起こりえます。しかし、たとえミスをして日頃のトレーニングやルールを理解を深める研鑽を充分に行って試合に臨めば、その姿勢を受け容れてもらえて選手やチーム役員がプレーに集中する環境を整えられる、と自分は信じてます。

さまざまな種別、レベルで皆さんそれぞれ審判活動を行っていると思いますが、それぞれの目標を立てて(新年ですし)、今年も1つ1つの試合を良いものにしていきましょう！(Hide)

レフリーニュース編集員

渡邊 芳敏 E-mail : chb-fa@ra2.so-net.ne.jp

伊藤 欽一 E-mail : kinfa@orange.plala.or.jp

菅原 英雄 E-mail : kh3h-sgwr@asahi-net.or.jp

大西 正一 E-mail : m.oonishi@kib.biglobe.ne.jp

野口 豪志 E-mail : hotman@y7.dion.ne.jp

社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会 <http://cfa-referee.lolipop.jp/> (アドレスが変わりました！)